

## もくじ

- ・ はくちょう おうじ  
白鳥の王子

はくちょう おうじ  
白鳥の王子

げんさく  
原作： アンデルセン どうわ 童話

イラスト： アカミツキ

へんしゅう  
編集： YellowBirdProject

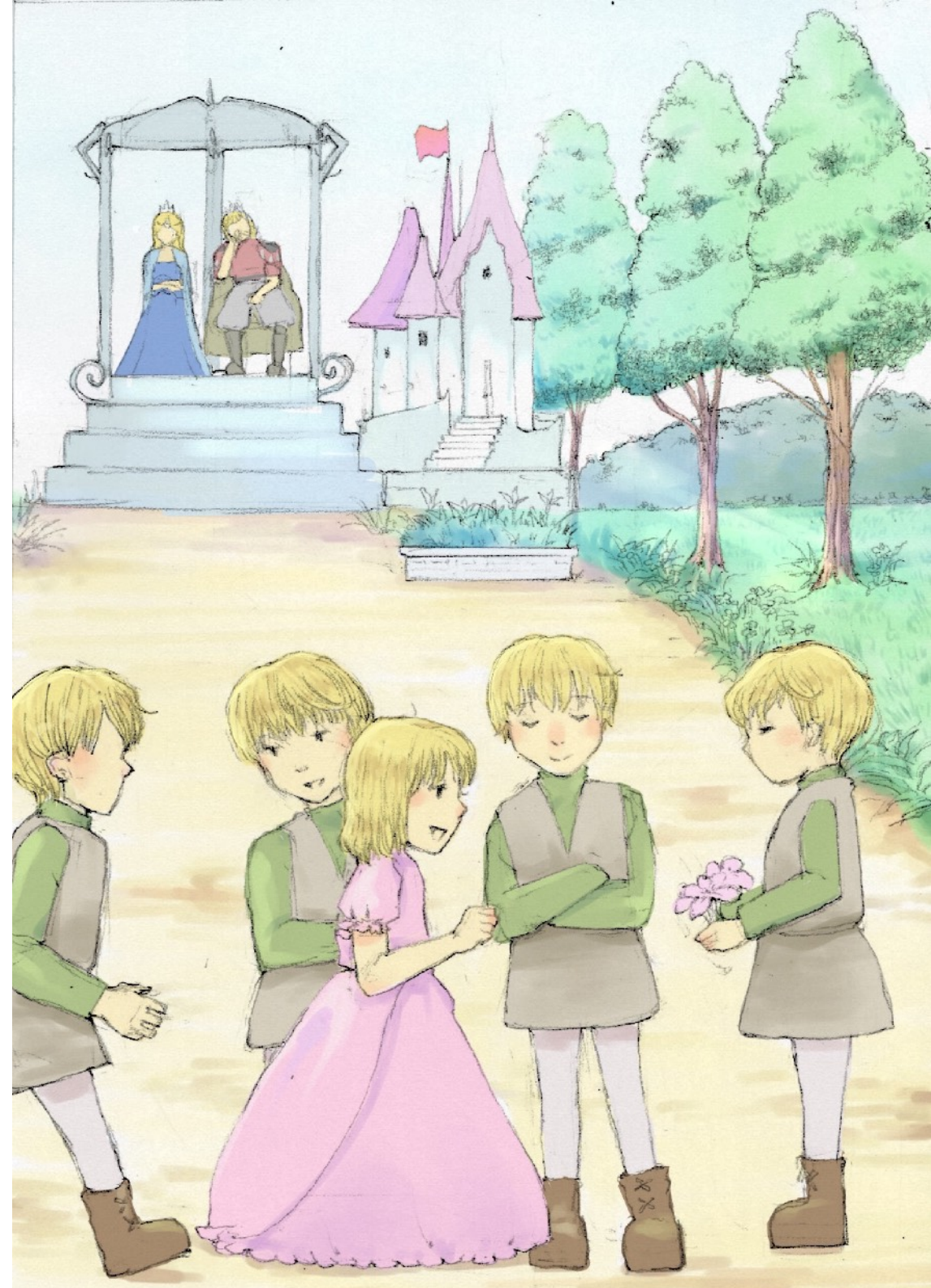
3

むかし、ある国に、『エリス』というかわいいお姫様と、11人の王子様がいました。王様とお姫様は、子どもたちをととてもかわいがっていました。

しかしある日、お姫様が重い病気にかかり、急になくなってしまったのです。

それからまもなく、王様は、新しいお姫様を迎えました。しかしこのお姫様は、実は恐ろしい魔女でした。魔女はお城を自分の物にするために、まず、子どもたちをお城から追い出すことにしました。魔女はエリスが外に遊びにしている間に、11人の王子たちを、魔法で白鳥の姿に変えてしまいました。

王様とエリスは、いなくなった王子たちを必死に探しましたが、手がかり一つ見つかりません。けれどもエリスは、王子たちは必ず生きていますと信じていました。



5

エリスは王子たちを探すために、一人でお城を出ました。何日も歩き続け、やがてエリスは、とある川のほとりにやってきました。そこには、一人のおばあさんがいました。

「おばあさん、この辺りで、11人の若者たちを見ませんでしたか？いなくなった、私の兄たちなのです」

「いやあ、男の人は見なかったけど、そういえば何日か前に、11羽の白鳥たちが、川下の方へ飛んでいったのを見たね」

「白鳥・・・ですか。わかりました。ありがとうございます」

その話を聞いて、みょうな胸騒ぎを覚えたエリスは、おばあさんの言っていた白鳥たちを探しに、川下へ向かいました。

空がオレンジ色から深い青色に変わる頃、エリスは、海辺の砂浜にいき当たりました。

